

第12回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年3月14日 9時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第12回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○村井災害対策本部長

- ・我々が元気を出さないと、県民に元気が出ないので、力強くやっていきたいと思う。
- ・副大臣、政務官、副知事は石巻市に視察に行っている。

○小野寺危機管理監

- ・津波注意報解除に伴い、陸からの救助活動が本格化してくるので、かなりの数の遺体が収容される、遺体の処理の対応が問題になってくると思われる。
- ・食料は若干遅れてはいるが、ある程度まとまった数量が届くことになっている。
- ・重油についても、ある程度まとまった数量が届くことになっている。

○仙台管区气象台

- ・ここ数日間は静かだが、M7クラスの余震が起こる確率が高い状態は続いている。海底で起きると津波もあり得るので、沿岸での作業には十分な注意が必要。

○今野総務部長

- ・県庁への避難者、職員安否、施設被害等の状況（資料内容）
- ・県庁1～2階の避難者は相当数が減った。今は2階の食堂と広報室、1階のドトール・コーヒーに集約。

○佐藤企画部長

- ・総務大臣から、仮設住宅の必要数を速やかに国土交通省に報告してほしいと連絡あり。
- ・庁内のインターネット使用は、災害復興業務を優先とし、災害業務関係のない職員は使用を控えるようお願いしたい。混んでつながりにくい状態が続いている。

○小泉環境生活部長

- ・遺体の安置所について、名取市長から、県の高等看護学校体育館を使用したいと申し出があり、保健福祉部と調整し、了解した旨お知らせした。

- ・遺体の処理について、沿岸部で相当数の遺体、例えば南三陸町では1000体の遺体があるとのこと。地元の首長から早急に土葬で処理したいと希望が出ている。遺体の傷みも懸念され、法的には不可能ではないので、土葬の方向で検討したい。

火葬は間に合わないと思われ、山元町からも、県の方針決めて示して欲しいと要望が出ている。厚労省に照会しており、午前中にも回答が来る予定。

○竹内警察本部長

- ・今の話は身元の確認・引き渡しが終わったご遺体の話か。1,000体の遺体という話は把握していない。身元確認が必須であり、中には旅行者も、関係者もいると思われる。

身元確認前に土葬という処理はとても出来ない。大変な膨大な作業だが、粘り強く身元確認作業等をやっていくしかない。ご家族のこともある。

人を増やして対応していくしかないが、まず場所が問題になる。例えば志津川中学校を解放するとか。いずれ、泥まみれのご遺体をそのまま土葬ということはいかななものか。

身元確認を終え、その後土葬ということであれば結構だが、手続きを踏まないわけにはいかない。

○村井災害対策本部長

- ・それは大前提である。検死、死亡証明後の埋葬方法は、誰が決定するのか。厚生労働省か、市町村長か。

○小泉環境生活部長

- ・最終的には市町村長が判断できることになっている。

○三浦災害対策副本部長

- ・いずれにせよ安置所は必要になる。

○村井災害対策本部長

- ・厚労省にも早急の確認して欲しい。南三陸町は、面積に比べて遺体の数も相当数だろうし、大変だと思う。

だが、まだ72時間前なので、まずは、救える命を救うということを今日一日頑張っていたきたい。

埋葬の件は、火葬は難しいので、土葬の方向で調整することになると思うが、その場合も検死手続きを踏むことは必要である旨、町にも伝えてほしい。

- ・棺桶とかは大丈夫か、保冷剤は。

○小泉環境生活部長

- ・保冷剤も含めて準備しているところ。

○岡部保健福祉部長

- ・所管施設，災害拠点病院等の状況（資料内容）
- ・受入可能病院は県HPにもアップしているので参照願いたい。
- ・ボランティアについては，国の方で受入体制構築してもらおう。
- ・社会福祉会館1階にボランティアセンター開設済み，体制は整えている。
- ・救命活動中だが，全国，全世界から善意の申し出（義援金）の問い合わせ非常に多くなっている。義援金，寄付金の受入口座開設の準備をしておき，口座が確定し次第，メディアでの広報をお願いしたい。

○村井災害対策本部長

- ・物資では対応しきれないので，善意はお金でお願いしたい旨，メディアの皆さんに広報を宜しくお願いしたい。

○河端経済商工観光部長

- ・各課所管施設等の被害状況（資料内容）
- ・石巻合庁は水がまだ引かない。対策本部の役目を果たせず，東部下水道事務所に移転を相談している。
- ・東部下水道事務所も満杯，土木事務所も移ってきたので。場所をどうするか，総務部と相談していきたい。
- ・昨日，山元町に行ってきた職員から復命があった。食料，水2リットル774本を山元町に搬送中。パン1万個が大河原合庁に届く予定であり，車6台待機し，届き次第，山元町に届ける。
- ・粉ミルク，トイレットペーパー，乾電池，紙おむつは県庁・仙台合庁にあるので，量を確認の上，今日にでも山元町に搬送する。
- ・石油ストーブは仙台合庁にあるが，灯油とセットで運ぶ予定。灯油が入庫次第トラック協会と協議。
- ・住宅関係は，プレハブ協会に土木部を通じて要請している。
- ・南三陸町に4名職員を派遣。4時現在の要望は資料のとおり。整理して対応したい。
- ・遺体が多く，損傷も激しいとのこと。
- ・国際援助団体，セイブ・ザ・チルドレンジャパン，救援食料の提供と搬送の申し出があった。

○千葉農林水産部長

- ・支援物資の要請状況等（資料内容）

○橋本土木部長

- ・土木公共施設等の状況（資料内容）
- ・東部土木事務所は，港湾も含めて下水道事務所に移動。

- ・道路のパトロールを本格化し、災害調査に当たる。
- ・道路の応急復旧対策は、現時点で259箇所、被災額1150億円で、まだまだ増える予定。
- ・道路、76線、120箇所規制中だが、どんどん増えている。全通行止めが61箇所。
- ・コバルトラインは通行可能。
- ・下水の関係は、市町村や漁業関係者との調整が必要だが、滅菌処理し、ダムを放水して河川を通じて海に流すようにしたいと思っている。河川、海域のモニタリングも行う。本格復旧には1年か2年くらいはかかるので、それまでの間、そのような対応をしたい。仙塩、阿武隈、東部で、そういう対応をする。
- ・緊急処理までどのくらいかかるかは不明だが、今日の夕方まで調整する。

○村井災害対策本部長

- ・下水が一番心配だ。
- ・仮設住宅1万戸要請する予定だが、県営住宅85戸確保、市町村住宅も把握したい、民間の賃貸住宅、一時的に旅館、ホテルを確保できないか確認中だが、それでも不足の場合は、疎開も考えなければならない。1万戸はすぐには対応できない。
- ・応急危険度判定は栗原市で終わっている。その他の市町村についても早急にしなければならない。それも支援する。

○自衛隊

- ・気仙沼、石巻。女川に10万食を準備。

○村井災害対策本部長

- ・牡鹿町鮎川の情報はどうか。離島はどうか。

○自衛隊

- ・離島は10島のうち3島に自衛隊は入っており、残り7つは、海上自衛隊が、食料が届き次第入る予定。

○三浦災害対策副本部長

- ・江ノ島は入っていないのか。

○村井災害対策本部長

- ・離島が心配だ。食料、水大丈夫か。
- ・江ノ島について確認して欲しい。103名住民がいる。海上自衛隊で確認して欲しい。

○竹内警察本部長

- ・広範囲に散在している。分散すればするほど、検死の医師確保の問題も出てくる。トータルな収容場所を確保する努力も続けなければならない。女川町の場所を調査

中であり、積極的な提供をお願いしたい。

- ・警察施設、駐在所の流出11箇所。
- ・雄勝地区では、避難住民が数カ所に分散。重傷者いないが食料がほとんどない。発電機もない。雄勝駐在の警察官の警察無線が唯一の連絡方法となっている。
- ・北上地区では、大川駐在所が流され、状況を十分把握できない。早急に情報把握したい。
- ・牡鹿地区は、渡波から鮎川まで全滅。各浜に100体くらいの遺体流れ着いている。半島全体で1,000を超えるかもしれない。道路も分断している。
- ・ポイントポイントに焦点を絞り、まずやれることを全力でやる。その後遺体収容。
- ・塩竈署長から連絡があり、多賀城市産業道路中心にタンクローリーが100台単位の多数台横転し、ガソリンが漏れており危険とのこと。措置しなければならない。消防の方はコンビナートの火災中心に対応している。遺体もかなり多い。場所によっては車が重なっていて、重機でひとつひとつ片付けなければいけない。

○村井災害対策本部長

- ・多賀城市長に連絡し、実態把握してほしい。消防にも確認のこと。
- ・テントを設置し遺体安置所することは可能か。ご遺体は、棺桶でなく袋に入れざるを得ない。テント設置も時間がかかると思う。現場にも確認して場所を選定すること。危機管理監の方で調整願う。
- ・タンクローリーについては消防に確認のこと。

○消防庁

- ・2,581名が活動中、本日から南三陸町中心に移動して活動している。
- ・コンビナート火災は、延焼は続いているが弱火にはなっている。消火には入っていない。

○東北電力（株）

- ・本日朝7時現在、停電93万戸、停電率65%。45万戸回復した。
- ・仙台市都心部周辺部を中心に復旧。昨日、仙台市中山、東仙台、八木山、大崎市、塩竈市の一部が復旧したが、沿岸部は見通しが立たない。
- ・75万5千戸が施設修理が必要。25万戸は、施設が流され、復旧に時間がかかる。

○小林教育長

- ・南三陸教育事務所は、今日から登米事務所に移転。東部教育事務所をどうするか検討する。
- ・子どもの転校が増えると思われ、その対応が課題。
- ・内々に仙台市災害ボランティアセンターから、県立高校を全国のボランティアの宿泊場所にしたいと連絡が来た。具体的には仙台三高を使いたいらしい。三高には被害はない。県全体のボランティア対応の問題なので、この場で方向性を決めていただきたい。

○村井災害対策本部長

- ・小林教育長で問題がなければ、良いと思うが。
- ・国がボランティアを一元化しているはずなので、県のボランティアセンターに連絡し、国とも調整してほしい。
- ・公用車のガソリンはどうするか、高速道路内のガソリンスタンド活用の件は、その後どうなっているか。危機対策課長を呼んできてほしい。

○千葉病院局長

- ・水道の復旧が遅れている。電気も遅れているのでA重油をお願いしたい。食料も不足。

○村井災害対策本部長

- ・水と食料、燃料については、かなり混乱しているので、自ら取りに行くよう調整してほしい。待っていたら届かないかもしれない。

○伊藤企業局長

- ・職員全員無事確認
- ・大郷あたりまで水は行くが、あとは市町村の水道の被害次第。

○菊池危機対策課長

- ・高速道路の給油可能なガステーションは、一覧表のとおりであり、緊急車両は給油可能。

○村井災害対策本部長

- ・かなり食料は届くようになってきているが、昨日あたりから首長さん方と直接連絡を取っていると、食料、水、燃料をと言われる。電気が回復してくれば、店も開くと思うが、ここ2、3日は開かないと思うので、それまでは、宮城県民全体が食料不足の状態。我々も食べていないが、234万人いるので、1食でも234万食必要になる。
- ・「宮城にも原発の影響があり、既に出ている、出るのでは等の噂が流れている。政府から何らかのアナウンスをしてもらった方がいいのでは」と大崎市長から電話があった。アナウンスはしてもらっているのだが、停電でTVを見ていないのではないか。政府は繰り返し大丈夫ということは言っている、市町村の災害対策本部に、その旨の情報を流すしかない。
- ・人命救助は今日明日がリミット。頑張っ欲しい。

次回は3月14日18時00分に開催する。